

[学術論文]

中国の幼稚園主題活動の実施状況と今後の課題

Project-based Learning in Chinese Kindergarten

青春
Qing Chun

はじめに

1. 研究の背景と研究目的
 - 1.1 研究の背景
 - 1.2 研究の目的
2. 主題活動の理論的背景
 - 2.1 陶行知の生活教育論
 - 2.2 デューイの教育論
 - 2.3 陳鶴琴の活教育論
3. 幼稚園の主題活動の実施状況
 - 3.1 幼稚園の主題活動の実施状況
 - 3.1.1 活動目標の設定に関する問題点
 - 3.1.2 活動内容の選択
 - 3.1.3 活動過程の設定
 - 3.1.4 活動の評価
 - 3.2 幼稚園の主題活動に存在する問題点
 - 3.2.1 教師と子どもたちのコミュニケーション
 - 3.2.2 主題活動の教育資源
 - 3.2.3 子どもたちの実践の機会
 - 3.2.4 主題活動における反省
4. 主題活動の課題解決に対する方策
 - 4.1 幼稚園の視点から
 - 4.2 教師の視点から
 - 4.3 保護者が担う教育

おわりに

要旨

幼稚園の教師における主題活動の設定と実施は、子どもたちの身体的および精神的な成長を助ける重要な方法である。幼稚園の主題活動の実施効果をさらに向上させるために、教師は系統的な分析と関連内容の整理を実行し、教育活動の継続的な最適化を促進させる必要がある。

本論文では、幼稚園の教育活動の一環である「主題活動」について、その問題点を可視化し、そして、乳幼児の教育を受ける権利を守るべく、幼稚園の視点・教師の視点・保護者が担う教育などの課題を取り上げた。

キーワード：幼稚園、 主題活動、 実施状況、 主題活動の問題点、

はじめに

近年、教育研究の発展と深化に伴い、幼児教育は人格形成の基礎となることから、その重要性が教育関係者の注目を集めている。幼稚園での教育活動は幼児が身体的および精神的に適切な成長を効果的に達成できるように支援することである。そして、子どもたちの総合的な成長を促進させ、幼稚園の教育・指導の質の向上・子どもたちの成長段階に適した活動内容をさらに推進するものである。そのため、研究者らは、文献調査、インタビュー、事例分析などのさまざまな研究を行っている。そのなかで、幼稚園の教育内容の一つである「主題活動」が好評価され注目を浴びている。

主題活動とは、「特定の時間または環境で、特定のテーマを基礎とするとともに、テーマを強調的に展開していく活動である」¹と定義されている。そして、楊（2022）は、集団活動において、主題活動は、一つのテーマを中心とし、それについて分析または交流し、参加者である子どもたちがテーマについて十分理解したうえで、各領域を超え、概念の違う知識点を有効に連結させ、活動を展開していくことであり、子どもは、テーマに関連する、より全面的な経験を得ることができる²と主題活動を評価している。

幼稚園の教育活動の中で、多様な領域を含むことを基本とする主題活動は、特定のテーマを手がかりに行う活動や交流を指す。幼稚園の教育活動中、主題活動を適切に設定することは、教師が活動内容を充分把握し、活動の展開をコントロールできることである。そして、袁（2022）は、「陳鶴琴³が提案した『全体指導法』（子どもの学習面を一つの全体としてとらえ、実践の中での学習を強調し、子どもの創造力・思考能力・情緒の発展を重視することを指す。筆者注）と「五本指活動」（健康活動・社会活動・科学活動・芸術活動・文学活動。筆者注）は、幼稚園の主題活動を進めるきっかけとなる」⁴と論じている。また、徐（2022）は、「教育活動の実施中、主題活動の内容が緊密な関連性を持ち、複雑なネットワークが形成され、活動の展開とともに、系統的及び論理的なネットワークとなって、教育活動が生き生きと展開していく」⁵と述べている。主題活動の進行及び展開は、子どもたちが活動内容において、いろいろな交流をすることや今までの経験・得た知識を運用すること等、多くの可能性をもたらしている。

¹ 肖海容「幼儿区域活动环境创设的意义、现状与对策综述——基于知网同类文献研究的梳理与分析」福建教育学院学报、2022、pp.126-128

² 杨雯雯「木偶资源在幼儿园美术教学活动中的利用现状及对策研究——以如皋市K幼儿园为例」扬州大学、2022

³ 陳鶴琴—中国の現代の有名な教育者、心理学者、中国の現代幼児教育の開拓者、児童教育の先駆者であり、「活教育理論」の提唱者でもある。

⁴ 袁倩「利用节庆活动发展幼儿能力的对策」家长周刊、2022、pp.171-173

⁵ 徐嘉悱「幼儿园绘本阅读教学问题及对策」儿童绘本、2022、pp.57-59

1. 研究の背景と研究目的

1.1 研究の背景

中国の幼稚園の教育内容において、外国の教育理念に影響を受けたり、国内の実態に合わせたカリキュラム作りが行われてきた。研究者らは、「何が子どもに適した活動内容であるのか」という基本の問いに基づいて、子どもたちの成長の基盤となる幼児教育の本質についての議論を進めてきた。教育内容の研究は主題活動⁶の研究とも重なり、先行研究では次のように主題活動が幅広く論じられた。

教師の指導面について、陳（2021）は、「適切な指導と体系的な教育活動は、指導モデルの設計と探求を実現することに役立ち、それによって幼児の身体的および精神的能力の育成が実現される」⁷と述べている。中国の教育部（日本の文部科学省にあたる）は、「幼稚園教育指導綱要」（以下「綱要」と略す）を発表し、「幼稚園及び幼稚園の教師は、子どもの個人差を十分配慮し、子ども一人ひとりの潜在能力が発揮できるような機会をつくりあげ、現在の発達段階のもとで、さらに成長できる様にするべき」と明示している。これを踏まえ、馬（2021）は、「教育改革事業の指導の下、多くの教育関係者が子どもの発達に適した教育理念と道徳性を備えた人間の育成を目的とした指導方法について研究を進め、指導方法の調整・改革がさらに進み、継続的に最適化を図ることで、その基盤が築かれた」⁸と述べた。また、劉（2021）は、「教師は、適切な主題活動を設定することで、幼稚園教師がテーマを中心に、活動内容を調整することができ、今後の教育指導の基礎となる」ことを指摘した。

活動内容について、周（2021）は、「主題活動を出発点として、今後の教育内容を分析および設計することで、教師はモデル授業⁹の展開を実現できる」¹⁰と述べている。この点に関して、主題活動は幅広い内容を含んでいるため、日常生活のあらゆる側面に反映することができる。日常生活に関わる主題活動は、子どもが活動内容を理解することに役立つと考えられる。従って、崔（2021）は、「幼稚園の主題活動の実施における教師の教育理念と主題活動の形式」に焦点を当てており¹¹、徐（2021）は、「教師の指導アイデアと設定した目標が主題活動の実施に重要な影響を与えること

⁶ 「主題活動」は、幼稚園の教育内容の一つであり、子どもの発達に適切することが認められている。そのため、近年、中国では「教育内容＝主題活動」と考える人が多い。

⁷ 陈慧「农村幼儿园活动室墙面环境创设探析-基于云南省临沧市沧源县的调查」淮南职业技术学院学报、2021、pp. 123-125

⁸ 马青梅「游戏在幼儿园教育教学中的运用与融合」学周、刊、2021(28)、pp. 175-176

⁹ 中国で「モデル授業」とは、適切な教育理念や教育方法を選び、他の教師に参考となる授業内容で設定して行う授業である。その目的は、授業内容を同じようにするのではなく、このような授業内容からどのように子どもたちが授業に関心を持てるようになり、自主的に参加することを促すことである。

¹⁰ 周红霞「大班幼儿语言故事创编活动的问题与对策分析」考试周刊、2021、pp. 160-162

¹¹ 崔建勇「农村幼儿园区域活动存在的问题及对策」中华志愿者、2021、p. 248

が多い」ことを示している¹²。同時に、何(2021)は、「タイムリーに教育内容を十分に準備することで、教師は教育内容を総合的に分析し、さまざまなトピックに基づいて子どもたちとコミュニケーションを図ったり、話し合ったりするのに役立ち、子どもたちが積極的に活動に参加でき、今後の教育活動の展開の可能性が高まる」¹³と述べている。教育の観点から、このような活動の実施は、子どもが特定の知識を積極的に理解し、幼児なりに解釈することができ、中国の幼児教育の多様な発展を促進することに役立つ。

幼稚園の主題活動に関する研究については、諸外国では関連内容の研究が比較的充実しており、研究内容も系統的である。何(2020年)は、諸外国の主題活動に関する研究で、主に、子どもたちが自分自身の価値観と行動能力の育成を実現するのに助けるために主題活動を利用することを提唱している¹⁴。中国国内の研究では、蔣(2020)は、教育活動の発展において、主題活動の内容と形式に焦点を当て、教育活動の設定に関する一連の研究を実施し、幼稚園の主題活動の内容をより豊かなものにしたと¹⁵まとめている。

諸外国と中国国内の研究焦点が異なるが、具体的な実施過程において、音楽、美術、労働教育¹⁶などの実践的な科目は海外の研究者から高く評価されており、伝統的な行事を取り入れることにとどまらず、現代の社会ニーズに合わせた活動内容を取り入れることなどからも中国の教育内容や設定形式が豊かだと認められ、教育業務の発展にもつながっている。また、欧阳(2020)は、教育内容を日常生活と連動させることで、「生活」という身近なものを出発点として、子どもが実際の生活環境の中で問題解決する力を養い、子ども自身で探求する活動の中での主体性や活動性を高めることができる¹⁷と示している。具体的で多元的な活動内容を設定することを通して、子どもの心身の成長や、思考能力の向上の基礎を培うことができる。胡(2020)は、幼稚園教育における主題活動の価値は、幼稚園の教師が具体的な問題に応じて活動内容を設計し探索するのに役立つことであると指摘し、教育内容の持続可能な発展を促進し、モデル授業の発展に多くの可能性をもたらすことである¹⁸と述べている。

主題活動を設計する過程で、張(2022)は、教師は子どもたちの実際の状況と活動に対する要求に基づいて、主題活動の内容を豊かに作成し、随時に調整すること¹⁹と述べており、これは活動の継続に繋がると考えられる。そして、これらの研究内容から、幼稚園の主題活動における日常生活の問題に積極的に注意を払うことで、教師はさまざまな場面に応じてテーマを設計できることが

¹² 徐彬彬「幼儿园管理中的主要问题与对策」家庭周刊、2021、p. 150

¹³ 何天洁「幼儿园大班劳动教育实施现状探析」教育导刊、2021、pp. 87-90

¹⁴ 何忠家「幼儿园绘本阅读活动设计与实施的研究」华中师范大学、2020

¹⁵ 蒋晟娴「幼儿园STEM教育的现状研究—以H市三所幼儿园为例」浙江师范大学、2020

¹⁶ 「労働教育」とは、幼児の徳育内容の一つであり、「飼育・栽培」、「係活動」、「自分のために何かをやる」などの活動を通して、仕事で頑張っている人たちへの尊重心・仕事をする意義・仕事の成果を大切にすることを育てることである。

¹⁷ 欧阳黔豫「贵州省M幼儿园屯堡文化课程实践研究」贵州师范大学、2020

¹⁸ 胡美玲「苗族民间工艺融入幼儿园区域活动的个案研究」贵州师范大学、2020

¹⁹ 张茜雯「幼儿园自主游戏中存在的问题及对策研究—以L市六所示范幼儿园为例」聊城大学、2022

わかった。これにより、活動のテーマが十分に強調され、今後の教育活動の持続的な発展を促進するのに役立つ。

しかし、主題活動の重要性を主張しているその一方で、張（2021）は、教育業務を実施する際、伝統的な教育制度や教育概念、影響により、一部の教師は幼稚園の主題活動にあまり注意を払わず、関連活動に十分なエネルギーを注ぐことが困難であり、教育の向上にはつながらなかったと指摘している²⁰。これは、伝統的な教育制度や概念に主題活動がうまく実現できない原因となり、幼稚園の教育資源や教師の経験値もその原因になると考えられる。そこで、教育改革の取り組みに後押しされて、幼稚園の主題活動の効果的な設定方法の探究と分析が、教師にとって徐々に重要な課題となってきた。

1.2 研究目的

幼稚園の教育と指導の過程において、優れた主題活動は、教師が子どもたちの活動への参加及び活動の展開へと導きやすく、現在中国で提唱されている質の高い教育に合致している。主題活動の設定・教師の関わり・子どもの参加・活動の評価などの問題を分析することで、問題点に応じた対応策をたて、幼稚園における主題活動の設定の改善と適合化を促すことが必要である。このことから、本研究の目的は、幼稚園の主題活動の実施状況を先行研究の分析から把握し、活動の展開と活動に存在する主な問題点を分析することである。それによって幼稚園の主題活動の実施効果を向上させることである。研究方法として、文献研究及び現地調査を合わせ、先行研究における主題活動の問題点及び中国のH市の幼稚園に実施した現地調査で明らかになった問題点を取り上げる。そして、これまでの研究では、主に「教育活動の設定、実施」について追究しているものが多く見られるが、本論文では、活動をする上での課題の解決策を提案することが他の論文との相違点であり、研究の意義でもあると考える。そこで、まず主題活動の理論的背景として、主題活動に関連する陶行知の教育論、デューイの教育論、陳鶴琴の活教育論について述べる。次に、幼稚園の主題活動の実施状況と存在する問題点を上げ、最後に、主題活動の課題解決するための方策を述べる。

2. 主題活動の理論的背景

主題活動は、活動の中で、参加者である子どもたちが中心となり、子どもたちが活動を展開していくことである。そして、遊びを通して、各領域を超えた知識を得て、個及び他との繋がりで社会性を習得できることである。これは、陶行知の「生活教育論」：「教育—生活、学校—社会、教育—学習」との関連性をもち、デューイの「教育の内容と本質は日常生活である」教育論の展開である

²⁰ 張霞「幼儿园图画书投放与使用存在的问题与教育对策」文淵、2021、p. 488

とも考えられる。陳鶴琴の「活教育論」：「子どもの自主性を活動の中で自然に引き出せる」と似ており、主題活動の理論根拠であるとも考えられる。

2.1 陶行知の生活教育論

陶行知は中国の教育家で、1914年アメリカに留学し、コロンビア大学でモンロー、デューイから教育学を学び、1916年に帰国し、南京高等師範大学の教授になった。陳鶴琴とともに、南京を拠点として中国教育の近代化に努力した。

教育理論を研究する過程で、于（2022）は、「教育者である陶行知が提唱した生活教育理論は、教育の発展に重要な影響を与えた」²¹と指摘している。この理論は主に、「教育としての生活、学校としての社会、教育と学習の統合」の内容である。張、李、陳（2022）は、生活と教育の統合により、学習者は生活から知識を獲得・探求することが可能となり、生活を通じた教育への参加が実現できるのである²²。つまり、教育の場が社会生活形態全体に拡大され、教育の包括的なモデルが確保されることになる²³。生活教育理論によると、教える・学ぶ・実践の統合は、教師自身の指導方法を見直すことにつながるとともに、教育活動における幼児の実践的な探求の機会を強化し、今後の教育内容の展開につながる²⁴だけでなく、「生活—教育—生活」の循環性から、理論と実践のつながりを誰でもわかるように解釈することができるのである。

2.2 デューイの教育論

デューイは教育活動を研究する中、教育は生活であると主張し、教育の内容と本質は日常生活であると信じていた。張（2022）は、幼児の成長過程における教育は、身体的および精神的なニーズを十分に満たし、幼児が生活についての認識や理解を得ることができる²⁵とまとめている。幼児教育の活動実践の中、裴（2022）は、生活をもとにし、生活環境と教育を十分に統合させることであり、単にスキルや知識の蓄積だけに焦点を当ててはいけない²⁶と主張している。教育活動を探求する中で、デューイは、単一の教育モデルのみが子どもの探究的興味に影響を与えることを避けるために、教育モデルを分析・分類することを提唱した。同時に、教育は生活のプロセスであり、学校は教育の一つの形態であり、従って生活の重要な形式であると提唱した。

また、教育内容の多様な展開を促進するため、教師は子どもの成長のニーズを把握し、その上で

²¹ 于晓敏「经典故事戏剧化课程开发的问题及对策」福建教育学院学报、2022、pp. 103-105

²² 张梨梨「西宁市幼儿园教师对碳中和的认知及运用研究」青海师范大学、2022

²³ 李逸薇「幼儿园大班一日生活过渡环节中的组织现状与优化策略研究—以J市S幼儿园为例」扬州大学、2022

²⁴ 陈露·许佳绿·王春燕「项目活动实施的审思:内涵、问题与对策」早期教育、2022

²⁵ 张昊「大班户外自主游戏分享环节中的师幼互动研究—以济南市三所幼儿园为例」山东师范大学、2022

²⁶ 裴秋月「大班幼儿在结构游戏中的同伴合作行为研究—以西宁市X幼儿园为例」青海师范大学、2022

子どもたちの特性に基づいた教育と活動内容を探求する必要がある。王（2022）は、教育過程の研究に関して、社会教育の目標は、教育過程において子どもの地位や価値観を尊重して、実態にあった目標を定めることが必要である。そうでなければ、社会が達成したい教育目標自体のみに焦点を当てることとなり、教育活動の設計が困難になっていると考えた²⁷とまとめている。この問題に関して、教育活動の継続性を保つために、教師は積極的に「生活」を探索し、子どもたち自身から探求できるように、生活の中で学習を取り入れる必要がある。生活に焦点を当てた教育や活動を計画することにより、子どもにとっては、教育をより身近に経験し理解することができ、教育への理解を促進させることができる。

2.3 陳鶴琴の活教育論

陳鶴琴（1892－1982）は中国の現代の有名な教育者、心理学者、中国の現代幼児教育の開拓者、児童教育の先駆者である。青年時代にアメリカ留学（1914－1919）を経験し、デューイ（J. Dewey）の教育思想に触れ、帰国後は教育界の指導的立場にあって、如何に新教育を中国に適合させながら、教育の内実を変えてゆくかを一貫して問い続けた人物である。

陳鶴琴が提唱した「活教育論」、すなわち生きた教育理論では、子どもたちの心身の健康を効果的に育成するために、教師は教育活動の形態を積極的に革新し、模索し、目標達成できるようにする必要があると考えていた。このような活動を通して、「社会的および自然生活の経験を十分に蓄積することは、子どもたちが実生活の認知レベルを高めることに有意義である」²⁸と活教育論は子どもたちの心身の発達に適していると主張している。日々の教育活動の中で、子どもが特定の問題を分析し、完全に解釈するのに役立ち、これにより、子どもの思考能力の合理的な展開が促進される。同時に、教育活動を設定する際に、項（2021）は、「教師は教育活動の媒体として書籍を使用するという単一の教育概念と形式を打ち破るべきであり、教師が生活と組み合わせた実践的な活動を積極的に計画することが重要であり、教育活動の実践は、その内容の特徴を持ち、子どもたちが実践に合わせた、行動力や学習力を養うことである」²⁹と述べている。また、青春（2020）は、陳鶴琴が創設した鼓楼幼稚園の活動実践の分析研究で、「活教育を取り入れた活動内容は、子どもの発達段階や年齢に合う内容であり、子どもの自主性を活動の中で自然に引き出せる」³⁰と明らかにした。教育内容に活教育理論を積極的に適用することで、教育、実践、学習、改善の有機的な統合が達成され、子どもが楽しい雰囲気の中で知識への自主探求心を身につけ、学習意欲を高めることができると考えられる。

²⁷ 王玉飞「家园共育视角下幼儿奖励存在的问题及对策研究」贵州师范大学、2022

²⁸ 朱海燕「大班美术活动《花瓶》活动反思」智力课堂、2022、pp.127-129

²⁹ 项佳彧「通过开展幼儿园综合主题活动建立良好师幼互动关系的对策分析」考试周刊、2021、pp.166-168

³⁰ 青春「陳鶴琴の「活教育」と「单元教育」について」、保育実践を創る研究会、2020、p.154

3. 幼稚園の主題活動の実施状況

主題活動の実施状況を分析するには、活動の前段階での準備や過程及び振り返りなどから着手する事によって、活動の全景が見えると考えられる。そして、実際に把握した状況から、問題点を取り上げることで実施状況と問題点がより可視化できる。ここで、主題活動の実施状況を目標の設定・内容の選択・活動過程の設定・評価の四段階で述べ、主題活動に存在する問題点を幼稚園・教師・子ども、さらにこれまでの活動の反省について取り上げる。

3.1 幼稚園の主題活動の実施状況

3.1.1 活動目標の設定に関する問題点

幼稚園で主題活動の実践において、活動目標の設定は、その後の活動とのつながりと内容設定に重要な意味を持ち、幼稚園の教師が主題活動を効果的に組織するのに役立ち、活動内容の質に良い影響を与える。しかし、この問題に関して、張（2021）は、「設定された目標が十分に適用できず、幼稚園の主題活動の目標の適用性を欠き、主題活動の実施に影響を与える」³¹と指摘している。活動目標の設定においては、子どもの状況を十分に考慮せずに設定する教師もおり、活動目標の操作性が低く、その次の活動の設定や活動の展開が困難となる。また、活動目標を設定する際、「一部の教師は活動過程における子どもの思考力、協働力、表現力、対話能力等への考慮がないため、その後の教育活動に影響を及ぼすことが生じる」³²と述べている。

3.1.2 活動内容の選択

活動内容を選択する際、「教師は子どもたちの参加の重要性を重視しておらず、そのため、活動中に子どもたちとあまりコミュニケーションもとっていない」と張（2021）³³が主張している。また、主題活動を設計する際に、子どもたちへの関わり方を十分に考慮せず、自らの指導経験を活かして指導環境や指導内容を整備・整理し、教師主導型の活動を中心に実施してきたため、子どもが活動に参加しにくくなり、活動内容への自主探求ができなくなり、教育活動中の子どもの主導権や価値が求められるなくなる。活動内容の選択に関して、王（2021）は、「教師が設定した活動内容は、各領域への浸透性が足りず、そのため、活動がある領域に偏ることが生じ、他の領域との関連性が断絶することになっていることがある」³⁴と指摘している。教育活動の観点から見ると、この問題は他の領域との関連性をなくし、教育活動の展開における領域の統合理念と合致していない事実として考えられる。実践の観点から見ると、さまざまな領域間の浸透と横断が十分に行われていな

³¹ 张妍「《指南》背景下幼儿园主题活动游戏化的实践探索」中外交流、2021、p. 786

³² 张霞「幼儿园图画书投放与使用存在的问题与教育对策」文渊、2021、p. 488

³³ 同上

³⁴ 王绎晴「多媒体环境下幼儿园主题教学活动研究」新课程、2021、p. 93

いため、活動内容が単一であることが多く、主題活動における子ども自身による特定の問題への分析と探究には役立たないこととなり、子どもの思考能力や総合的な協働力を養うことに影響を与える。

3.1.3 活動過程の設定

主題活動のなかで、活動過程の設定が活動目標の達成に重要な影響を与える。現在、幼稚園の主題活動の内容のつながりが不十分であり、その結果、教師が設定した主題活動の内容が互いに独立しており、確実なつながりがないことがある。そして、教師が活動過程への観察の不十分さの原因もあり、主題活動が関連性をもつ系統的なシステムにならず、教育業務の展開や発展に影響を与える。また、活動のなかで、内容設定の単一性と適応性が低く、子どもたちの総合的な思考力の向上に影響を与えると考えられる。現在、「幼稚園の主題活動の内容の設定方法として、『情景的指導』『物語の解釈』『遊戯』『演劇』『実験』などが挙げられる」³⁵。しかし、実際の活動実践の中、教師のその場での対応能力が低く、事前に設定された内容通りしか活動を進めず、領域間の統合性が欠けている。そのため、子どもたちの自主探求の土台になれず、子どもたちの想像力も制限されてしまうことも起こってしまうことがある。

3.1.4 活動の評価

「綱要」では、活動評価について、「活動の目標、内容、設定、実施、環境が綱要で要求している教育目標と一致し、子どもたちに学習経験を与え、子どもの全面的な発展を促進させられるかどうか」「教育内容と活動形式が子どもの学習特徴に適し、生活面に関連し、興味を引かせることができるかどうか」「活動内容、方法、教師の指導が多数の子ども発達段階に適するとともに、子どもたちの個人差を尊重し、全ての子どもが良い経験を得られるかどうか」「教育内容、形式、環境は子どもたちが積極的に活動に参加することに有利であり、自ら考え、探索、創造できるかどうか」「教師の指導が、子どもたちのさらなる探索、思考に有利であり、活動の整理、展開、経験の取得に有利であるかどうか」の五点を重視しなければならないと記してある。

しかし、教師が評価の主体となることが多く、評価の偏りが生じることが多くみられる。活動に対する、実践中や振り返り時に、参加者としての子どもたちや協力者としての保護者との交流が少ないことから、「評価」について、子どもたちは認識できず、保護者は評価過程に参加出来ないことがある。また、周（2021）は、「一部の教師は、子どもたちと一緒に『評価』することを心がけるが、「子どもである」という認識が先走ってしまうことで、実際は子どもたちから活動への評価

³⁵ 林琮瑜「试论幼儿园主题式区域活动开展现状及优化对策」格言周刊、2021、pp. 56-57

内容がほとんどみられない事情となり、子どもたちの認知能力にも影響を及ぼすことに繋がる」³⁶と述べている。また、主題活動への評価は主に、設定評価と結果評価となっており、過程評価が重視されないことがある。そして、活動の目標達成度への関心が多く、その後の活動の展開や探求の検討が少なく、「主題」を伸ばすことが途切れてしまうことがあり、評価本来の意義が十分といえない事態が多くみられる。

3.2 幼稚園の主題活動に存在する問題点

3.2.1 教師と子どもたちのコミュニケーション

日常の教育のなかで、子どもの年齢が低いため、幼稚園の教師は、主題活動の開発と組織化において重要な役割を果たすことがよくある。具体的には、幼稚園の教師が考えた指導方法は、子どもたちの思考力の育成に重要な影響を与えるため、関連する問題をどのように探求するかは、常に教師が目指す重要なテーマである。年少クラスでありがちな事情として、担当教師は比較的指導経験が浅く、主に若手教師に集中するため、幼稚園の教師は関連活動を設定する際に子どもたちとのコミュニケーションが少なくなり、子どもの考えを取り入れるケースが少ない。洪（2021）は、「主題活動のなかで教師から教えられた知識を受動的に受け入れ、その知識をタイムリーに総合的に考えないことは、活動における子どもたちの総合的な価値が弱く、特定の問題への積極的な学びの統合に役立たない」³⁷と分析している。子どもたちの思考能力の成長に大きな隠れた危険をもたらしていると考えられる。一方で、この問題の存在と反省・実践能力の不足により、多くの教師が指導活動を通じて自分の欠点をタイムリーに分析・整理することができず、これは教育現場にとっても極めて問題である。その後の教育活動の進歩に悪影響を及ぼす。教職の観点から見ると、この問題は幼稚園の教育活動の展開において、幼児の思考活動、想像力、創造力などの総合的な能力に影響を与え、弱体化させることが多く、その後の指導の適切性が重要である。

3.2.2 主題活動の教育資源

幼稚園の主題活動を実施する際に、一部の幼稚園では主題活動で利用できる資源が比較的少ないため、活動の展開にある程度の制限をもたらしてしまうことがあり、教師と子どもたちは活動を展開したいが、材料が不足しているため、手をつけられない状況になってしまう。そして、活動の実践中、子どもの自主探求力や問題分析・解決力を生み出すにも影響を与える。上記の問題点に関しては、一部の幼稚園における主題活動の基本的条件やインフラ、物質的条件がまだ整っていない

³⁶ 周麗「浅谈幼儿园科学教育活动现状与对策」文渊、2021、p. 127

³⁷ 洪梦雪・王杨「幼儿园开展区域活动存在的问题及对策」课程教育研究、2021、pp. 159-160

め、主題活動の設定や実施の際に影響を与えることが多くの研究データで示されている。さらに、張（2021）は、「客観的な環境や物質的条件の制限により、教師が関連する知識を最適に解釈できず、合理的に整理することも困難となり、しばしば活動の合理的な展開に悪影響を及ぼしてしまう」³⁸と指摘している。また、このような問題点があるため、教師が主題活動を設定する際に、関連する活動を効果的に進めるよう支援ができず、主題活動の設定が表面的なことだけとなり、子どもたちの主題活動を通して具体的な問題点への分析・解決などの基礎能力向上に追いつけない。主題活動の実施観点からみると、教育資源の不足が、主題活動に対する子どもたちの想像力や印象及び主体性の発揮がなくなり、今後の活動の継続やモデル授業の開設にも影響を与えると考えられる。

3.2.3 子どもたちの実践の機会

活動実施の観点から見ると、多くの子どもたちは主題活動における実践的な探求への機会を欠いており、幼児の主体的な学習習慣や探究意識を養うことができなくなり、活動に参加する中、具体的な問題への積極的な自主探求の姿勢がみられなくなる。伝統的な指導モデルの元で設定した活動内容は、実践性が少ないことから、主題活動が「やらされている」穴埋め式な活動内容にしかみられず、子どもたちの主題について活動を展開することにつながらない。このような、穴埋め式の活動は、教師の合理的な活動の問題点への分析・解決にも影響を与え、子どもの見直しの習慣が養えないことにつながる。

3.2.4 主題活動における反省

主題活動に関して、一部の教師が活動内容の詳細な部分について再検討していないため、活動が予定目標に達しないことにつながる。活動評価の視点からみると、「活動への評価及び反省が足りないことは、活動内容に関連する各領域面のつながりが足りないことに気づかないこととなり、子どもたちの発展面の成長状況の把握が不十分となる」³⁹。そして、上記の問題点は、今後の主題活動の設定・調整及び改善に制限をもたらすこととなる。子どもたちにとっては、活動評価の欠如は、子どもたち自身が活動における実践的な探求方法を十分に理解できず、活動の継続性に大きな影響を与えてしまう。このような問題点の存在により、主題活動の教育的価値は大幅に制限されており、子どもたちが活動中に有意な探求習慣や分析意識を身につけることに役立たず、子どもたちの思考能力にも一定の影響を及ぼしてしまう。

³⁸ 张鲁佳「幼儿园空间环境建设的现状与设计对策」新教育时代、2021、p. 64

³⁹ 秋宗「幼儿园区域活动中存在的问题与对策探析」电脑爱好者、2021、pp. 2971-2972

4. 主題活動の課題解決に対する方策

上記のように、主題活動の準備や実施、活動後に対して、色々な問題点が存在するため、これらの課題に対する解決方策を提唱し課題解決につなげていくのが重要な課題となる。

4.1 幼稚園の視点から

幼稚園に関しては、主題活動の合理的な展開をさらに促進させるために、幼稚園の主題活動の重要性を十分に認識し、幼稚園に合った・在園時に適した教育理念や指導概念の導入・浸透を強化する必要がある。これに基づいて、教師は教育及び活動の展開に関連する問題を積極的に分析・整理することができ、これらが教育内容の継続性の促進に良い役割を果たすと考えられる。同時に、幼稚園の日常的な教育内容の概念を積極的に調整・改善することにより、教師は教育活動を実施する過程で、より系統的に教育内容を指導することができ、活動内容とモデル授業の継続性に良い影響を及ぼす。上記の作業を進めることは、教師が教育内容における関連問題を十分に整理することに役立ち、幼稚園の主題活動の徹底的な推進を確実にすることにも役立ち、教育内容の発展に良い補助的価値があると認識できる。そして、教師が活動実践と適した概念を組み合わせるようになり、指導方法の調査・整理することもできると考えられる。これらは、その後の教育業務の適切性にとって意義を持ち、モデル授業の改善と継続にもつながると理解できる。

幼稚園の日常的な教育の中、主題活動の実施効果を継続させるために、幼稚園は自らの実情に応じて基礎施設（園全体の環境設定や教具など）への投資を増加させ、それによって基礎教育を促し、子どもたちに豊富な教育資源を提供でき、教育業務の改善につながると共に、教育業務内容の多元化発展にもつながると考えられる。

この問題に関して、張（2021）は、「充実した教育設備と豊富な教育資源は、主題活動の実施中の物質的条件が確保・改善され幼稚園の主題活動設定が幅広くなり、教育内容及びモデル授業の調整に役立ち、教育の発展により多くの可能性を提供できる」⁴⁰と認識している。活動実施において、上記の内容により、教師は教育内容を全体的に検討することができ、より良い指導の雰囲気を作り出し、子どもたちが特定の状況で特定の知識を分析して要約することができるようになると思われる。

教師は教育活動の主な主催者であり、子どもたちの成長の道案内者でもある。従って、幼稚園の主題活動を促進させるために、幼稚園側は、積極的に教師の育成に力を入れ、教育業務の多元化を促進させる必要がある。そして、教師の指導能力を向上させるため、幼稚園は、教師たちが具体的な内容について整理・分析するように促し、定期的に研修会を開き、新しい理念の導入や指導方法についての自分磨き過程の機会を作つてあげる必要がある。

これにより、教員は受験による教育への影響や制約を取り除くことができ、教育業務の合理的な

⁴⁰ 张丽梅「多媒体技术在幼儿园主题教学中存在的问题及对策」电脑爱好者、2021、p. 3095

発展を促進させることができる。日々の教育業務の中、上記のように業務を実施することで、教師が再学習を通して、教育内容への分析・再検討ができ、活動内容の多様な展開につながり、主題活動の実施、改革、革新に重要な価値があると考えられる。

4.2 教師の視点から

教師の観点から見ると、主題活動を合理的に設定するために、教師は指導過程で子どもたちとコミュニケーションを図るために、指導のアイデアを調整・変更する必要がある。上記の取り組みを実施することで、教育業務の質を高めることを促進させ、より良い教育業務形態を作り、活動内容の設定の中、具体的な知識について分析や探求するように促し、子どもたちの思考能力の発展に補助的な可能性をもたらす。また、子どもたちとコミュニケーションをとるなかで教師との信頼関係を築き、それによって子どもは活動に協力的に参加し、意欲的に問題を探求・整理することができ、子どもの思考力の発展や成長を促すことができる。

教師は、幼稚園の教育内容を設定する際に、活動の実施に注目し、検討会を設けることで、活動の実践過程・効果について把握することが必要である。このような検討会を通して、教師は活動の実施中にあった問題や困惑について、他の教師たちと意見交換ができ、グループの力を介して、解決方法や対策を生み出し、今後の活動内容の再設定や展開の基盤を築くことができる。全体的な観点から見ると、検討会を合理的に進めることで、教師は実際の教育経験を効果的に要約、整理することができ、それによって、教育業務における指導方法や組織形態を常に見直すことができ、教育内容の継続性を図ることができる。

指導プロセス中に、関連する方法を使用すると、教師が主題活動を組織する際の経験を分析して整理することができ、教師が関連する問題を積極的に分析するのに役立つ。その結果、主題活動のなかで、教師の指導経験が合理的に浸透し、促進させることができ、主題活動の効果を保てることことができる。

幼稚園で主題活動を実施する過程で、教育目標の達成を確実にするために、教師は実生活に注目し、生活を出発点とした主題活動の資源を積極的に探索する必要がある。同時に、これに対応した指導場面を積極的に確立することで、子どもたちに自主探究の機会をより多く提供することができる。それによって活動の多様な展開の可能性が広がり、教育内容の進行や展開を促進させることができる。

この問題については、多くの活動実践から、豊富な実践できる活動内容を設定し、子どもたちの参加を進めることで、子どもたちが関連知識の記憶をさらに深めることができ、より良い活動内容の基盤を築くことができる。

また、主題活動のもう一つの大きな問題点として、「主題」という言葉のみ尊重し、活動を行っていることが取り上げられる。教師は、季節や行事に合わせて、「主題」のみを設定し、子どもたちは、「主題」活動に参加し、楽しむことのみを主とするように活動を行っていることがある。筆

者が、2019年9月に現地調査⁴¹を行った、A幼稚園の「月餅を作る」を主題にした活動を事例としてあげる。

中国の伝統的な行事として、旧暦の8月15日に行事食の「月餅」を食べる日である。幼稚園はこの行事に合わせて、年長組に「月餅を作る」活動を設定し、活動を行った。本来の主題活動であれば、「月餅」というキーワードを子どもたちに提供し、月餅を中心にして、子どもたちが自分の興味のある遊びに合わせて、活動を展開するとともに、教師は、「月餅の由来について」、「どんな行事」などの説明を行い、活動の補助的な役割をすることである。その上に、実際に月餅を作るなどの一斉活動を行うのが、主題活動の概念にあった活動だと思う。しかし、A幼稚園の「月餅を作る」主題活動は、月餅を作る材料を提供し、教師が作る順序を説明しながら、一斉に作っていく活動であった。この活動を通して、子どもたちは、「作る楽しさ」「作った達成感」を味わうことができたと思うが、主題活動としての役割が果たせず、単純な「主題」のみの活動で終えたので、本来ならの主題活動とは言えないと認識できる。

このような「主題」活動は、他の幼稚園にもきっと存在していると思うので、教師の主題活動についての認識をもう一度考え直す必要があると考える。

4.3 保護者が担う教育

保護者の観点から見ると、子どもの成長過程においても保護者は重要な役割を果たしており、子どもの正しい価値観の形成と確立にとっても、教師並びに重要な役割を持っている。従って、日常の家庭生活において、積極的に子どもとコミュニケーションをとり、子どもの感情的な要求を満たし、身体的および精神的な健康を保つ上で、教師の指導に答え、家庭教育での保護者の役割を十分発揮させる必要がある。この点については、教師からの提案を迅速に分析し、家庭教育の中で、子どもたちとコミュニケーションをとることで、幼稚園の主題活動を継続・展開することができ、主題活動の実施効果の向上に補助的な意義と価値がある。勤労教育の活動では、教師と積極的に協力することで、子どもが家庭生活の中で洗濯、床掃除、皿洗いなどの自立できる仕事を行うことができるようになり、保護者は家庭生活をキャリアとして子どもを十分に支援することができる。そして、労働スキルへの理解・習得・対応するなどの知識は、子どもたちの労働意欲を向上させることで良い役割を果たす。

家庭生活において、良好な家庭教育の雰囲気作りすることに心がけることは、家庭と幼稚園と

⁴¹ 2019年9月、中国・内モンゴル自治区のH市のA私立幼稚園で現地調査を行った。本調査では、街中心部の幼稚園で行っている教育活動と郊外に位置する幼稚園で行っている教育活動の実態を把握・比較することを目的とした。郊外に位置するA幼稚園は、大きな団地（いつかのマンションが一つの団地として命名され、中国では社区と呼ばれている。）の中にある私立幼稚園である。年長・年中・年少クラスがそれぞれ一クラスあり、団地に住んでいる子どもがほとんどである。調査を行った当日は「月餅を創る」という教育活動（「主題」活動）を行っていて、教育活動及び主題活動の問題点を観察できた。（名古屋大学大学院の研究倫理審査を受け（受理番後18033、課題名「1990年代中国・内モンゴル自治区における草原流動幼児園についての研究」、中国・内モンゴル自治区のフフホト市の幼稚園で幼稚園の教師にインタビュー調査を行い、実践活動に参加するなど、現地調査を行った。）

の交流ができ、家庭・幼稚園との連携教育ができるようになる。このような教育を推進することにより、教育・指導モデルの継続的な展開と合理的な発展を促進させ、教育業務の補助的価値があると考えられる。そして、関連する取り組みにより、保護者は家庭生活における教育活動をさらに探究・展開することができ、それによって、家庭生活がより豊かな教育的価値を持つようになる。たとえば、誠実さをテーマにした活動を展開する際、保護者は家庭生活の小さな物事に基づき、誠実さの重要性を説明し、例示することができ、誠実さの意識を確立することに役立ち、子どもたちの思考能力を向上させることに優れた補助的価値があると思われる。そして、日常生活の中、子どもと一緒に遊ぶことで、保護者は子どもとのコミュニケーションを深め、子どもとの関係を縮めることができる。

幼稚園の主題活動においては、活動目標を確実に実現するために、保護者は、子どもの成長について教師と積極的にコミュニケーションをとる必要があり、教師に子どもを押し付けたり、幼稚園との交流を無視したりすることはできない。実践の結果、家庭と幼稚園の交流で教育業務が円滑に進められたことで、保護者は、子どもの成長について自ら分析したことを教師と意見交換することができ、それによって教育の要点や活動形態などの有利な調整が促進されることが示されている。また、このような取り組みの推進により、適切な活動内容と合理的な展開がさらに促進され、教育内容の多様な改善の可能性がさらに広まる。活動の実施において、家庭と幼稚園のコミュニケーションをとることによる相互作用は、保護者が家庭教育を無意識で行う中、どのような問題を抱えているかを認識でき、タイムリーに改善することに役立ち、その後の教育と指導への改善を促進させることができ、教育活動の継続的な実施と科学的な調整にも有意なデータを提供できる。また、親子の関係がさらに近づき、子どもの良好な成長に補助的価値もある。

おわりに

日本の小学校では、「個別最適な学び」「協働的な学び」を中心とし、一斉教育を行う中、徐々に子どもたち自分自身の興味に合わせて、個と他を意識し、学びを進めて、展開している。そして、日本の幼稚園では、主題活動と呼ばれていないが、一つのテーマから、遊びを展開していく活動を行っている幼稚園保育園もある。幼小連携が重視されているなか、子どもの人格・習慣が成り立つ幼児期に、「自分から見つける」「自分で解決する」などのことを身につけられると、主題活動の意義が広く認められることになる。

幼稚園の教師における主題活動の設定と実施は、子どもたちの身体的および精神的な成長を助ける重要な方法および選択肢であることがわかる。幼稚園の主題活動の実施効果をさらに向上させるために、教師は系統的な分析と関連内容の整理を実行し、教育活動の継続性を促進させる必要がある。また、幼稚園の主題活動の実施中の主な問題として、教師の伝統的な指導概念、主題活動のための教育資源の不足、活動形態の単一性、活動評価の欠如などが指摘されている。幼稚園の主題活動の効果の向上を促進させるために、教師は関連する問題について十分な整理と分析を積極

的に行う必要がある。従って、教師は具体的な問題点に関する解決方法や対策を設定することで、目的に応じてより系統的に指導することができる。そうであれば、子どもの思考能力の向上を促進させ、学習能力の向上を図るためのよい基盤となる。また、その後の教育活動の実施方法を調整し、多方面からの改善を図り、活動内容がより豊富となると考えられる。設定の過程では、責任の明確化を一層推進し、予測する指導効果の向上を確実にするために、幼稚園、教師、研究者のそれぞれの立場から問題解決方法を整理・設定する必要がある。

そして、主題活動の設定・実施に取り入れることで、特定の問題を随時合理的に分析することができ、家庭と幼稚園の協力メカニズムの確立を促進させ、それによって子どもたちが成長するための良い場所を提供し、心と身体の成長をサポートし、思考力を豊かに伸ばし、教育の改善と継続性に良い影響を与えることがわかる。